

ココロもカラダも健康になる旅のススメ。



ココロ、カラダ、ヘルシー

和歌山県太地町は古式捕鯨発祥の地です。かつて栄えた捕鯨施設跡や、伝承を続けてきた神社の祭礼、祭りや踊りなどをご覧になれば、人と鯨が共生してきた「古くからの町の営み」が、きっと感じとれると思います。

近代に入り反捕鯨の声が高まった時、太地町は環境団体からバッシングを受け戸惑いました。しかし、それは同時に「鯨やイルカが棲み続けている太地の海の実態」を世界中の人々に知ってもらえる良い機会にもなりました。

太地町に行けば、彼らに会える。スピリチュアルな鯨の生態が観られる。セラピー効果が期待できるイルカたちと遊べる。波音をBGMにして青い海を眺めて寛ぐ...など、太地町には健やかに心身を癒してくれる自然由来のアクティビティが豊富にあります。

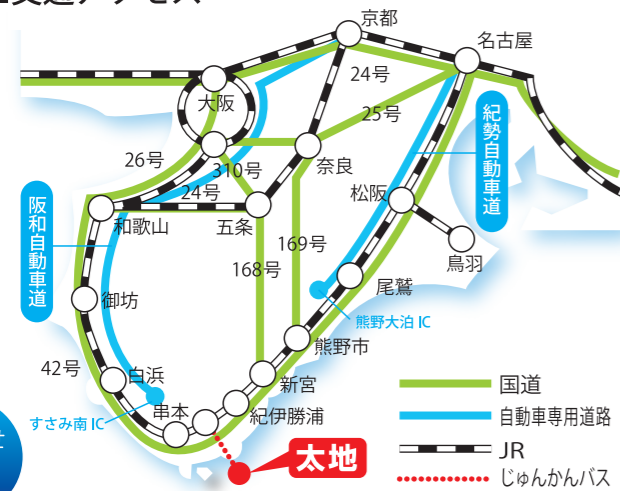
さあ、太地町でココロもカラダも、ヘルシーにリフレッシュさせてみませんか。

# Taiji

Wellness Tourism



## 交通アクセス



### お車でお越しになる場合

大阪	1時間	和歌山I.C.	1時間30分	太地
		阪和自動車道		
		すさみ南I.C.	1時間	
名古屋	3時間	熊野大泊I.C.	40分	太地
		伊勢・紀勢自動車道		
		新宮南I.C.	20分	市屋I.C.
			10分	

### 電車でお越しになる場合

JR新大阪駅	3時間50分	JR太地駅
	JR特急くろしお	
JR名古屋駅	3時間50分	JR太地駅
	JR特急ワイドビュー南紀	
	JR紀伊勝浦駅	10分
	JR紀勢本線	

●観光のお問い合わせ／太地町役場産業建設課

〒649-5171 和歌山県東牟婁郡太地町太地3767-1 TEL0735-59-2335 FAX0735-59-2570

和歌山県太地町





●**梶取崎灯台から燈明崎を望む**  
古式捕鯨の山見台があった梶取崎と燈明崎。ともに南紀熊野ジオパークのジオサイトに指定されています。



●**くじらのモニュメント**  
国道42号から太地町へと向かう道沿いにあり、実物大のザトウクジラの親子のモニュメントが迎えてくれます。夜には、様々な光のパターンでライトアップされ、とても幻想的です。



●**捕鯨船**  
北洋や南水洋で活躍した捕鯨船「第一京丸」が太地くじら浜公園に展示され、外部を見学することができます。



●**くじらの供養碑**  
熊野灘を見晴らす梶取崎にあります。捕鯨という鯨の命をいただく仕事に携わる人々の精一杯の鎮魂の証です。



●**石垣記念館**  
戦前のアメリカ画壇でも活躍した、太地町出身の洋画家・石垣栄太郎の記念館で、森浦湾を望む場所にありま。



●**落合博満野球記念館**  
落合博満氏がプロ野球生活の中で獲得したトロフィーや使用したユニフォーム、写真などが展示されています。

POSITIVE OFF

まぶしい太陽、紺碧の海と空。まちを抜ける風が心地いい。

黒潮流れる太地町は、紀伊半島の南東部にあり古くから鯨がその姿を見せていました。人々はくじらと共に生き、捕鯨の地として栄え、捕鯨の伝統と思いそして人を紡いできました。江戸時代初期になると組織的な捕鯨が始まり、一大産業に発展しました。大いなる海の恵みが生活を支え、その一方で海の恵みに感謝してきました。

また、まちを訪ねるととてもおもしろいことに気付きます。町中には格子戸のある建物が多く、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどへの移民や捕鯨船乗組員が持ち帰ったといわれる船に塗るペンキが民家の外壁に塗られ、潮風から建物を守る和洋折衷の独特の景観が見られます。くじら浜公園内には、世界有数の資料を保有する「くじらの博物館」があります。館内では、クジラやイルカのショーをはじめ、鯨に関するレクチャー、クジラやイルカとのふれあい体験などが行われています。また、ドルフィン・ベイブスやドルフィンリゾートで、イルカとふれあえる体験もとても人気があります。くじらと共に生きてきたまち太地町。歴史を訪ね、自然に癒され、クジラ・イルカとふれあい、ココロとカラダを満たしてください。



●**国際鯨類施設**  
令和6年4月に国際鯨類施設が完成しました。施設は、研究室、書籍3万冊と資料を集めた図書室。90人収容できる研修ホールがあり鯨類研究の拠点施設として利用されます。



ようこそ、くじらのまち、太地町へ。

CONTENTS

ようこそ、くじらのまち、太地町へ。…………… P.1

学んで楽しむ。

くじらを知ろう! くじらと楽しもう! …………… P.3

《太地町立くじらの博物館探訪》

心身に有酸素。

海で遊ぼう。イルカとふれあおう! …………… P.5

日本遺産「くじらの町」を散策しよう! …………… P.6

太地歳時記 …………… P.7

太地ならではのソウルフルなおいしさ ヘルシー風土 …… P.8

健やか太地町イラストマップ

太地ココロとカラダを癒す旅 …………… P.9

宿泊情報 …………… P.10



学んで楽しむ。

# くじらを知ろう！ くじらと楽しもう！

## 《太地町立くじらの博物館探訪》



**●くじらの博物館**  
 くじらの博物館本館では、くじらの生態や捕鯨に関する1000点もの資料が展示されています。また、学芸員や飼育スタッフがさまざまなテーマで解説する学習プログラムも実施しています。



**●イルカショー・クジラショー**  
 イルカのダイナミックなジャンプシーンや、世界でも珍しいゴンドウクジラだけのショーも楽しめます。トレーナーの指示に見事に応えるくじらたちの心とむパフォーマンスです。



「太地町立くじらの博物館」1階大ホールに展示している、実物大のセミクジラと古式捕鯨の再現をしたジオラマ



**●古式捕鯨船の鉋**  
 江戸時代後期から明治時代まで続けられた太地の古式捕鯨のジオラマや、鯨船の模型をはじめ、鉋などの古式捕鯨道具も展示されています。



### くじらと人々の営みを伝える

太地の旅に欠かせない場所といえば、世界一のスケールを誇る太地町立くじらの博物館です。本館には、くじらと共に生きてきた約400年にわたる町の歴史、先人たちの知恵、人々が感じてきたくじらへの感謝の思いが詰まっています。くじらについて学んだら館外へ。入り江を仕切った自然プールを舞台にくじらと触れ合える楽しくて、癒しに満ちた体験が待っています。夏には日本では太地だけ！くじらと泳げる海水浴場もオープンします。



**●ビーチでふれあい**  
 入り江を囲った自然プールではクジラに直接触れて、地球に暮らす仲間やさいいぬくもりを感じてみましょう。



**●イルカジャンプ体験**  
 イルカショーのステージでトレーナーと同じように指示を出し、見事にイルカをジャンプさせましょう。



**●カヤックアドベンチャー**  
 カヤックに乗って水上で、また自然プールの栈橋からもクジラに餌をあげる体験ができます。



**●ふれあいスイム**  
 ゴンドウクジラと水の中でふれあうことができます。背ビレをつかんで一緒に泳ぐ貴重な体験もできます。

やさしい目で見てほえんをくれる！  
彼らのコミュニケーション能力の高さには、ますます感動です！



**●シロナガスクジラ骨格標本**  
 地球上最大の動物「シロナガスクジラ」の全身骨格です。原骨格はノルウェーで1880年に捕獲された体長26mのメスのもので、その大きさが原寸大の標本からよくわかります。



**●マリナリウムトンネル式大水槽**  
 海洋水族館マリナリウムでは、頭の上をイルカたちが泳ぐ大水槽が人気です。飼育が難しく、水族館としては全国でここで見ることのできない「スズイルカ」にも出会えます。

心身に有酸素。

# 海で遊ぼう。

海に生きる地球の仲間とともに過ごす癒しの時間  
イルカとふれあおう！

人生100年時代が叫ばれる中で、人々の健康志向が高まりを見せています。食だけでなく、余暇の過ごし方でも心身ともに健康になる旅や健康回復を目的にする旅の提案が人気を集めています。

そんななか、新たに推奨されているのが「ブルーツーリズム」です。「ブルーツーリズム」はあまり聞きなれない言葉ですが、島や沿岸部の漁村に滞在し、海辺での生活体験を通じてリフレッシュする余暇の総称のことです。美しく雄大な海の風景はもちろん、海を舞台にした体験や地元の人々の生活・文化とのふれあいを通じて、心と体のリフレッシュを図る旅。くじらの町として知られる太地町には、ブルーツーリズムに求められるすべてが揃っています。古式捕鯨発祥の地としての長い歴史を刻む町の風景、南紀熊野ジオパークのジオサイトに認定された雄大な海岸風景、そして、くじらの博物館以外にも海や海の仲間とふれあえる民間施設も整っています。

日本列島の成り立ちに深いかかわりを持つ太地の海岸風景のなかで、まずは海の生き物たちとのふれあいを楽しみ、命の愛おしさを深く感じるからこそ、心身の癒しの第一歩になるはず。



●穏やかな森浦湾から出発します。



●パドルに慣れたら海の爽快さに思わず笑みもこぼれます。

### ■太地フィールドカヤック

町全体が熊野灘に面した太地の海を満喫できる体験プランです。波穏やかな森浦湾をシーカヤックで漕ぎ出せば、そこは雄大な熊野灘。海と太地が長い年月をかけて造り上げた、太地の勇壮な海岸美を海から眺める体験は、陸地で見るとは違う感動を与えてくれます。

1時間のSUPコースから半日コースまで、すべてのコースにはカヤックと太地の海を知りつづいたインストラクターが同行してくれるので、安心して海の冒険にチャレンジできます。  
電話：0735-59-2200 URL：www.taijifk.com/



●森浦湾に浮かぶ広大な生け簀がステージです。

### ■ドルフィン・ベイイス

日本で最初にイルカと一緒に遊べる体験プログラムを公開したのがここです。舞台は森浦湾に浮かぶ生け簀のプール。広々としたプールでは、イルカの華麗なジャンプを見たり、一緒に泳いだりすることができます。「ふれあいコース」と「泳ぐコース」があり、泳ぐのはまだという2歳までの幼児でも気軽に参加できます。インストラクターがイルカを紹介してくれるので、イルカの個性にふれ、命のやさしさを心と体で受け止めることができます。

電話：0735-59-3514  
URL：dolphinbase.co.jp/wordpress/



●太地の明るい海と空を背景にイルカのジャンプが映えます。



●イルカの背ヒレにつかまりドルフィンスイムにチャレンジ。



●イルカにサインを出してジャンプさせる体験もできます。



●イルカがやさしくほっぺにキス。

### ■ドルフィンリゾート

森浦湾に沿ってくじら浜公園に向かって延びる県道240号線沿いにある、イルカと泳げるアトラクションです。コンセプトは「イルカは友達」。イルカと遊ぶプランがいっぱいで、イルカと泳いだり、イルカとキスしたりしながら、距離感ゼロで遊べます。イルカだけでなくアザラシやウミガメとも身近にふれあえる海沿いならではの施設です。

電話：0735-59-3952  
URL：www.dolphinresort2.net/

## 太地の町を培った歴史と自然を感じる 日本遺産「くじらの町」を散策しよう

地域の歴史的な魅力や特色を通じ、日本の伝統と文化を語るストーリーが文化庁認定の「日本遺産」です。鯨とともに生きてきた太地町は平成28年に日本遺産の町として認定されました。太地の町のいたるところで、捕鯨で生きてきた町の面影が見られ、遣唐使の吉備真備が唐から帰国途中に漂着した場所など、熊野灘に囲まれた町ならではの歴史も感じることができます。南紀熊野ジオパークのジオサイトに認定された海の景勝地も太地の大きな魅力です。のんびり時間をかけて町を散策し、太地の人々と海が紡いだストーリーを体感してみましょう。



●細い路地に格子戸のある木造家屋が並ぶ印象的な太地町の町中。



●燈明崎にある行灯式灯台。燈明崎は寛永13年(1636)に日本最古の鯨油を使った灯台が設置された場所です。



●梶取崎にあるくじら供養碑。鯨の命をいただき生活する太地の人々が、鯨魂の鎮魂のため建立しました。毎年4月29日にはここで「くじら供養祭」が行われます。



●梶取崎灯台。沖を行く船はこの岬を目当てに梶を切ったとされる梶取崎に立つ灯台の初点火は明治23年(1890)。現在の灯台は昭和38年に改築されたものです。

### ■南紀熊野ジオパーク

日本語で「大地の公園」という意味を持つジオパーク。平成26年に日本ジオパークに認定された「南紀熊野ジオパーク」は紀伊半島南部地域にあり、プレートの沈み込みによって生み出された3種類の地質体とそれによって生み出された独特の景観や熊野信仰などの歴史や文化を体感できる場所です。太地町には、ジオサイトと呼ばれるジオパークの見どころが「伴待瀬海岸ダイアビル」「梶取崎」「燈明崎」「和田の岩門」の4か所あります。



●伴待瀬海岸のダイアビル。ダイアビルとは、地下深くの泥質岩がプレートの沈み込みによって起こった地下水圧の上昇で上の地層に割り込んだものです。



●梶取崎から燈明崎を望む。入り組んだ海岸線、熊野層群の砂岩層がつくる絶壁に熊野灘の波濤が砕ける勇壮な風景です。



●飛鳥神社は江戸時代に新宮の阿須賀神社から勧請された太地の氏神様です。鮮やかな丹塗りの社殿は元禄時代の建築です。



●明治11年(1878)に捕鯨中に起こった死者110名に及ぶ史上最悪の遭難事故を語り継ぐ、漂流人記念碑。



●燈明崎にある吉備真備漂着の地の碑。唐から帰国途中の天平勝宝5年(753)に遭難した吉備真備一行が漂着した岬とされます。



●和田の岩門。県道240号線沿いにある岩穴は風化作用によって自然にできたもの。太地古式捕鯨の創始者、和田氏の居宅は岩門をくぐった場所にあつたとされます。



●梶取崎から燈明崎への遊歩道はその名も「カンドリーロード」。木々の間を抜ける道は夏も涼しく、木と木の間から望む熊野灘の水平線も爽快です。



●平見台園地からの眺望。平見台園地にある糞子投(ままこなげ)は、串本大島から浦神湾、太地の海岸線が一望できる岬です。

# 太地歳時記

各地に伝わる祭りや町を盛り上げる華やかなイベント。祭りには地元の歴史や文化のエッセンスがたっぷり詰まっています。くじらの町太地の祭りは、やっぱり鯨と海。勇壮な鯨太鼓、古式捕鯨の再現、海中に飛び込む樽御輿など、鯨と海とともに生きてきた太地の人々の心が、祭りに深い歴史の物語を添えています。近年では太地の半島を一周するコースがある、UCI(国際自転車競技連合)主催のアジアツアー「Tour de 熊野」も注目です。

## 【道の駅たいじの朝市】

毎月第1日曜日を目処に「道の駅たいじ」で開催されます。会場では地元の農産物、海産物を販売するほか、くじらの町太地ならではのくじらの竜田揚げやくじら汁等も店頭並びます。



●朝市では、新鮮な農産物海産物が並びます。

## ◆5月下旬～6月上旬頃 【Tour de 熊野】

国際自転車競技連合が開催するアジアツアーとして、国内外の選手が参加する国際レースです。太地町では「太地半島一周コース」として、くじら浜公園を出発・ゴール地点とする計10周、全104.3kmのレースが展開されます。



●太地くじら浜公園を出発してレースが始まります。

## ◆7月～8月くじらに会える海水浴場 【くじら浜海水浴場オープン】

日本で唯一のクジラと泳げる海水浴場です。海水浴場内に生け簀を設置して、海水浴をしながらすぐ近くで小型のクジラ・ハナゴンドウが泳ぐのを見ることができます。1日2回、生け簀からクジラが海水浴場内に放たれます。くじらの町太地ならではの海水浴場です。



●1日2回、海水浴場内にハナゴンドウが放たれ、一緒に泳ぐことができます。

●ハナゴンドウを見ながらの海水浴。



写真上●太地漁港の夜空を彩る花火。

写真中●持双舟を再現した台の上で行われる「洋上くじら踊り」。

写真下●鯨模型を挟んで伝統の網掛け突き捕鯨法を再現する「勇魚祭」。

## ◆8月14日 【盆供養花火大会】

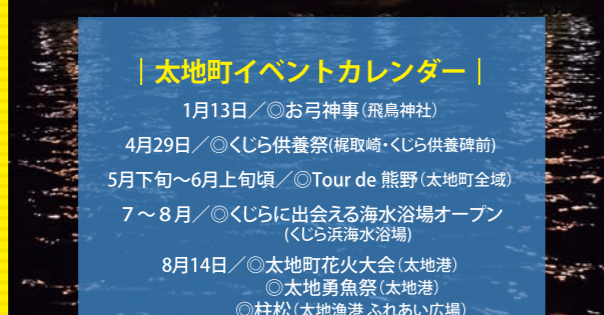
8月14日の夜、太地漁港で花火大会がおこなわれます。太地の花火に文化を感じるのは、最後の花火の前に「柱松」「洋上くじら踊り」「鯨太鼓」が披露されるからです。特に最後の仕掛け、スターマインの花火に合わせて、打ち鳴らされる太鼓の連打は正に迫力満点です。

## 【洋上くじら踊り】

その昔、鯨を射止めるとそれを祝って港の中を漕ぎまわる持双舟の上で踊ったといわれています。横に並んだ二隻の勢子舟に11mの艦埋(2段)を渡して持双舟とし、その台の上で踊る独特な座踊りで、和歌山県の「指定文化財」に指定されています。

## 【勇魚祭】

古式捕鯨発祥の地として「くじらの町・太地」の歴史と文化の伝承や地域の振興に寄与することを目的として昭和62年(1987)から行われているものです。太地浦で盛んに行われていた「網掛け突き捕鯨法」をおよそ9mの鯨模型(FRP製)と勢子舟を使って再現します。



## 【太地町イベントカレンダー】

1月13日/◎お弓神事(飛鳥神社)

4月29日/◎くじら供養祭(梶崎・くじら供養碑前)

5月下旬～6月上旬頃/◎Tour de 熊野(太地町全域)

7～8月/◎くじらに会える海水浴場オープン(くじら浜海水浴場)

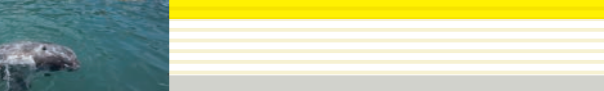
8月14日/◎太地町花火大会(太地港)

◎太地勇魚祭(太地港)

◎柱松(太地漁港ふれあい広場)

10月・体育の日/◎飛鳥神社秋期例大祭・はだか宵宮(飛鳥神社、太地町内全域)

11月・第1日曜/◎太地浦くじら祭(太地漁港ふれあい広場)



## ◆10月体育の日(第2月曜)、 休日の絡む三連休(土・日・月) 【飛鳥神社例大祭・宵宮祭り】

夜7時30分頃、水産共同組合で神降ろしの神事を行ったあと、子ども達が、男子は藁で編んだ鉢巻をして掛ノ魚を持ち、女子は頭に藁の入った袋をいただき、きれいに化粧をして町内を巡ります。そのあとに思い思いに顔を造った若者達が、御神酒の入った小樽(太地町では五升樽と云う)大樽の二つの樽みこし(全国的にも珍しい)を担ぎ、「ハラエヤ、ワッショイ」の掛け声も勇ましく町内を練り歩きます。

途中、樽ごと海中に飛び込んでみそぎをし、再び陸にあがって神社にむかいます。この樽みこしは2軒の当家(頭家とも書く)があり樽を中心に先棒、後棒を受け持ちます。特に最後の方で、後ろを担ぐグループが、早く樽を神社に奉納しようと神社前の石段を駆けあがろうとするのを、前に担ぐグループがそうはさせまいと上から押し戻す、その攻防が見もの。



●飛鳥神社の秋期例大祭のはだか宵宮。化粧を施した若者たちが町中を練り歩きます。



●森を背に鎮座する、太地の氏神様・飛鳥神社。

## ◆11月第1日曜日 【太地浦くじら祭】

毎年11月の第1日曜日に「太地漁港ふれあい広場」の一角に特設舞台を組んで行われます。特設舞台の上で「鯨踊り、鯨太鼓、いさな太鼓、民謡おどり」などの郷土芸能が披露されます。

また、青年有志による舞台やゲームなどもあり、最後に餅撒きが行われます。当日は、市町村による食べ物のバザーや鯨肉の販売、姉妹都市、長野県白馬村の物産展(隔年出席)などもあります。



●特設舞台で披露される、太地浦くじら祭の「鯨踊り」。



●勇壮な鯨太鼓が太地漁港に響き、祭りを盛り上げます。

太地ならではのソウルフルな「おいしさ」

# ヘルシー風土

写真下●くじらのハリハリ鍋、尾の身の刺身、竜田揚げや酢の物など、くじら尽くしの豪華ヘルシーな「くじらフルコース」。



## ■くじら料理

クジラを食すところなく使ったことまでをいれたいたクジラへの敬意。本場では、肉はもちろん、骨も油も様々な用途で使われるのがくじらのフルコースです。刺身に刺身、竜田揚げ、パークソウ等々、油揚げに煮込まれる唐揚げで歯を予防し、さらにはDHAも多く含んでいます。たっぷり食べてもヘルシーで安心なくじら料理は、太地一押しのお味です。

## 太地の風土とフード。

くじらの町にきたからには、やはりくじら料理を味わいたい。くじら肉はかつて貴重なたんぱく源として日本全国の食卓にのぼり、日本の食文化の一端を担っていました。近年、健康志向の食材として、低脂肪、低コレステロールでビタミンAが豊富な健康食品として注目されています。近年、たまにしかお目にかかれなくくじら肉。太地町では、この貴重なくじら料理を、町内各所のお店や施設で味わうことができ、加工品の販売もしています。また、黒潮流れる町ならではの新鮮な海の幸や、暖流と燦々と輝く太陽の光を浴びて元気に育った柑橘類もおすすめです。伝統の菓子「てつめん餅」は、餅の部分が薄く柔らかく、中の餡は優しい甘さで美味しい逸品です。ぜひ味わってみてください。



●太地のポンカン  
黒潮が運ぶ温暖な太地の気候が育てた甘くて人気のフルーツです。



●ぷっくりふくれたお腹がかわいい鯨土鈴やカラフルなシャチなどの民芸品も道の駅で販売。



●那智黒鮫/高級な碗にも使われる那智黒石にちなんだ鮫は和歌山銘菓を代表する菓子です。



●干物/地元で獲れた新鮮な魚介を干した干物は土産にも人気の品です。



●きれいにサシが入ったくじらの刺身。

## 【道の駅たいじ】

太地の玄関口にあたる国道42号森浦交差点近くにある道の駅です。毎朝、地元で採れた海産物や農産物を販売しています。構内では、地元の郷土玩具の鯨土鈴などのくじらの民芸品も販売。フードコートでは、鯨スタミナ丼や鯨カツバーガーなど鯨料理も楽しめます。



●国道42号に面した道の駅たいじ。



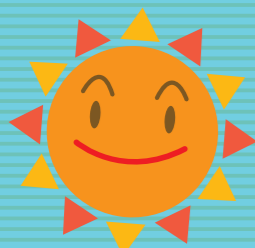
●道の駅構内では様々な地場産品を販売。



●てつめん餅  
100年ほど昔、熊野詣の途中の僧に製法を教わられたという、太地の和菓子の定番です。



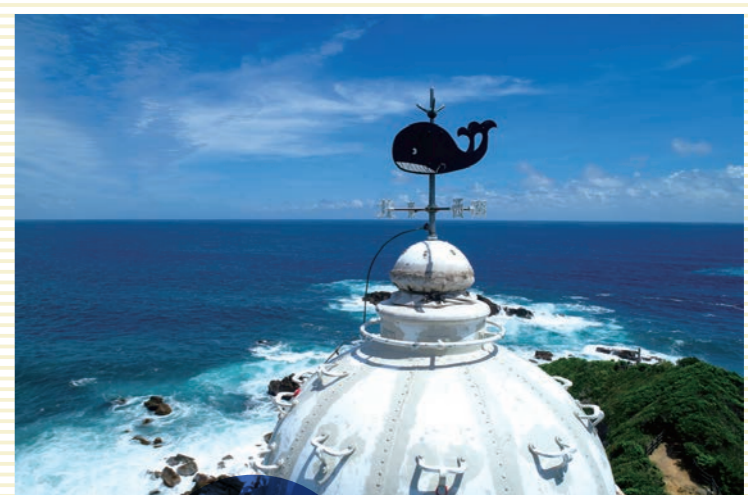
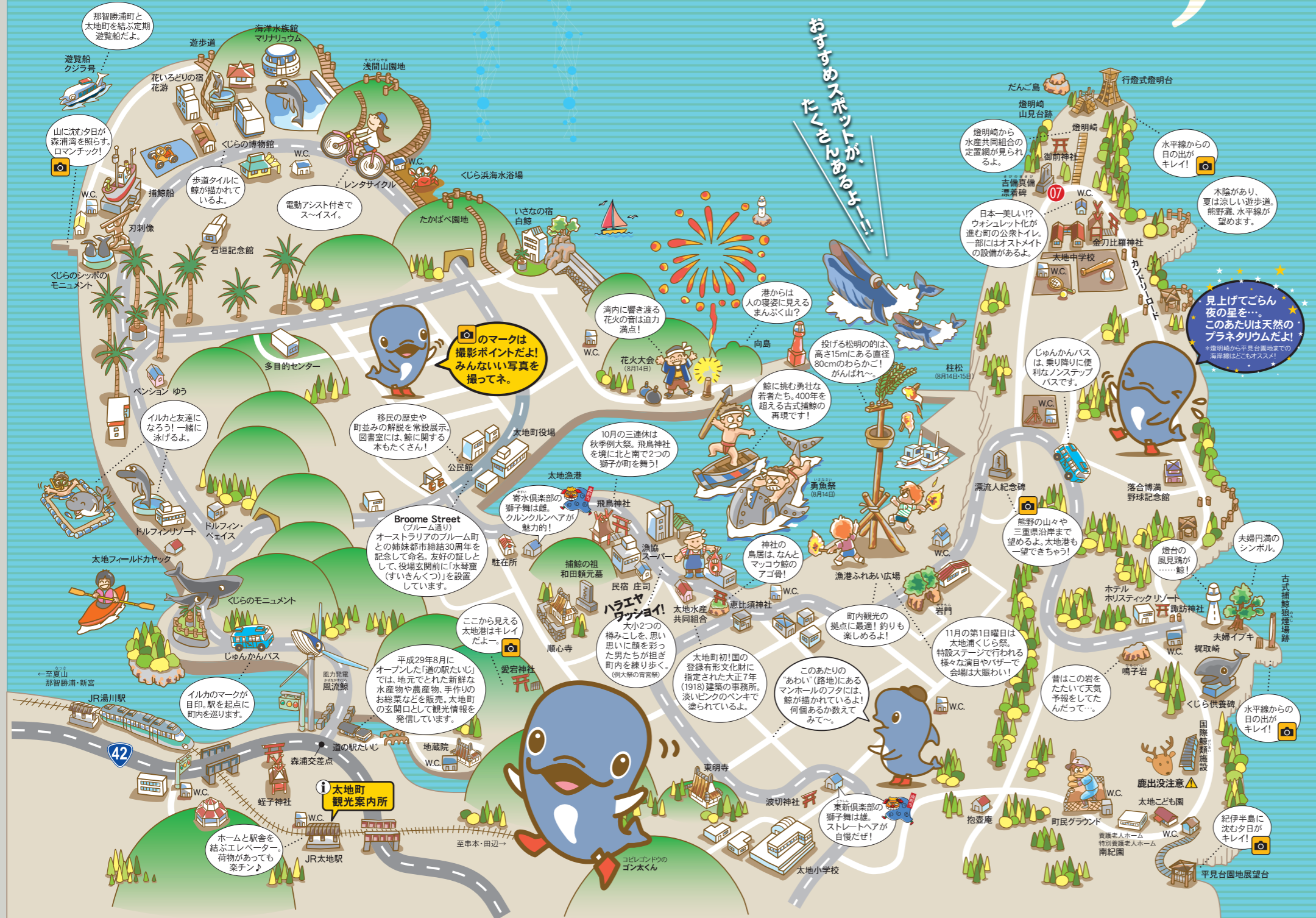
●本醸造「酒勇魚」  
古くは鯨を勇魚(いさな)と呼びました。勇壮なクジラらしい爽快な酒です。古式捕鯨の絵をあしらった化粧箱も素敵。



健やか太地町イラストマップ

# 太地ココロとカラダを癒す旅

# Taiji



幌取崎に立つ白亜の幌取崎灯台のついでに熊野灘の風を受ける風見鯨



### ●太地町観光案内所

JR太地駅構内にあります。太地町内の観光スポットなどを案内し、近隣市町村のパンフレットも置いてあります。レンタサイクルもあり、潮風を感じながらの太地ツーリングにおすすめです。

和歌山県東牟婁郡太地町森浦239-1  
TEL0735-59-3131  
時間 / 8:30~16:30 休/12月29日~1月3日

[レンタサイクル]  
料金/1時間まで300円、3時間まで800円、4時間まで1000円、1日(4時間を超える時)1500円、1泊2日2500円  
休 / 太地町観光案内所: 12月29日~1月3日  
いさなの宿 白鯨: 休館日



レンタサイクルで海岸を走りくじら浜公園へ、捕鯨船の前でひと休み。

### ●太地町営じゅんかんバス

太地町をぐるっとめぐる町営じゅんかんバスは、町民だけでなく観光客にも便利です。1時間に1~2本、午前6時台から午後7時台まで運行しています。平成28年からは自由乗降バスも登場しました。

TEL0735-59-2335(太地町役場総務課)



太地町営じゅんかんバスのニューフェイス、自由乗降バスは車体にイルカの絵柄が爽やか。

### 宿泊情報

#### ●いさなの宿 白鯨

和歌山県東牟婁郡太地町太地2973-4  
TEL0735-59-2323  
収容人員 / 一般89名、団体126名、客室 / 27室、温泉有  
<http://www.hakugei-taiji.com>

#### ●ホリスティック・スペース・ジャパン

ホテル ホリスティックリゾート  
和歌山県東牟婁郡太地町太地1426  
TEL0735-59-6300  
収容人員 / 37名、客室 / 18室、温泉有  
<https://www.holistic-space.jp>

#### ●花いろどりの宿 花游

和歌山県東牟婁郡太地町太地2906  
TEL0735-59-3060  
収容人員 / 219名、客室 / 43室、温泉有  
<http://www.hana-kayuu.com>

#### ●ペンション ゆう

和歌山県東牟婁郡太地町太地2902-118  
TEL0735-59-6039  
収容人員 / 14名、客室 / 4室  
無線LAN完備(全客室)  
<http://www.p-you.sakura.ne.jp>

#### ●民宿 庄司

和歌山県東牟婁郡太地町太地3172  
TEL0735-59-2077  
収容人員 / 20名、客室 / 7室  
<http://taijishoji8.wixsite.com/shoji>

